



## カナダの主要な雑誌と新聞

カナダで発行されている新聞や雑誌は無数に近い。全国だけでなく海外でも購読されているのもあれば、三〇〇部とか五〇〇部といった、小さな町の小さな週刊誌まで、その種類も豊富だ。またモザイクといわれるカナダ社会の多様性を反映して、日本語を含め、何十もの言語で発行されている、という具合である。こ

れらの雑誌や新聞については、Canadian Almanac & Directory (Copp Clark Publishing, Toronto) にリストアップされているので、それを見ていただくこととして、ここでは当大使館にある定期刊行物の中から、主要なものをご紹介します。

### ●雑誌

Maclean's カナダ全国で読まれている隔週発行のニュース誌で、国内の政治、経済、社会、文化などの動向を報道・解説し、また国際的なできごとを扱う。創刊は一九〇五年。今夏から週刊に移行する予定。

Saturday Night 年十回発行の一般向け総合雑誌。カナダ国内のいろいろな問題を署名入りの記事で解説する。旅行記や演劇、テレビ、映画、出版物などに関する批評も。

Chatelaine 英仏両語で出版されている女性向けの月刊総合誌。女性開放（あるいは女権拡張）、料理、ファッション、家庭など、女性に興味あるトピックスを掲載している。

The Canadian Forum 月刊の総合評論誌。書評など文芸批評にも力を入れている。

International Perspectives カナダ外務省発行の隔月誌。世界におけるカナダの役割やカナダ国民に関心のある国際的時事問題に関する署名入りの解説や意見を掲載。

ほかに、評論誌として Opinion や Dimension、文芸専門誌として Performing Arts in Canada, Art Magazine, The

Music Scene, Motion, The Canadian Composer (Le Compositeur Canadien), Take One, Nouveau Cinema Canadien, Vie des Artsなどがあげられる。インディアンやエスキモーに関する The Native Perspective、カナダの自然に焦点を当てた Nature Canada、フロンティア時代のカナダを扱う The Beaver、ケベックの政治、経済、社会情勢を伝える季刊の Perspectives、カナダの歴史と伝統を専門とする Heritage Canada という雑誌もある。

またカナダの経済誌としては、The Financial Post, Canadian Business, Canada Commerce (通商産業省発行)、Trade and Commerce (西部カナダの通商産業)、Business Life (西部経済・産業界の動向) などのほか、Drug Merchandising, Canadian Woods Products, Canadian Pulp and Paper Industry, Canadian Automotive Trade, Men's Wear といった雑誌も発行されている。

## 新刊案内

ジョージ・ラドワンスキー著「トルドー」(Trudeau)。Macmillan of Canada, Toronto 発行。一九七八年。

自由主義諸国の政治的指導者が、次々と舞台から消えていく中で、カナダのトルドー首相は、一九六八年四月以来、十年も政権の座に就いている。かつてのデイリーフエンベーカー首相やピアソン首相の、およそ二倍という長さである。

そして、今日の指導者の中で、トルドーほどカリスマをもち、話題を提供

し、愛され、あるいは憎まれた人物も少ない。

一九四七年生まれの、気鋭のジャーナリスト（わずか二十五才でモントリオール・ガゼット紙の副編集長になり、現在はファイナンシャル・タイムズのオタワ総局長兼国内政治コラムニスト）によるこの本は、トルドー首相との八時間にわたる会見のほか、彼の周辺の人たちや彼に批判的な政治家などとの会見、およびトルドー首相の著作や発言をもとに、この十五代目のカナダ首相の人物や政治理論、実際の行政過程などをきわめて描写的にまとめている。

アレックス・イングレス著「北の放浪者」(Northern Vagabond)。McClelland and Stewart 社発行。一九七八年。

一八九三年、J・B・テイレルという男が、ハドソン湾の西に広がる荒涼たる大ツンドラ地帯（バレンランド）を横断した。その時まで、地図の上では全くの空白に過ぎなかったこのツンドラ地帯で、テイレルは恐竜の化石や石炭の大鉱脈を発見する。その後、彼は長い探検生活を離れ、クロンダイク・ゴールド・ラッシュに加わって金鉱探しに熱を上げる。そしてオンタリオ北部で鉱山コンサルタントとして活躍するかたわら、探検家デイビッド・トンブソンについて書く――。

「International Perspectives (カナダ外務省発行の外交問題評論誌)」の編集長でピアソン首相の伝記の編集者でもあった著者により、忘れられた一人の探検家が過去から呼び戻された。